

算数オンライン塾 10月14日の問題 解説

(1) 0はないので、A、B、Cに使える数は1、2、3です。したがってAに使える数は3通り、BもCもそれぞれ3通りですから、 $3 \times 3 \times 3 = 27$ 通り

(答え) 27通り

(2) 必ず1個は5が入ることになります。

Aが5の場合、 $A+B$ 、 $A+C$ 、 $B+C$ が7以下になるためにはBもCも1か2でなければなりません。したがって $2 \times 2 = 4$ 通り

Bが5の場合、Cが5の場合がそれぞれあるので合計 $4 \times 3 = 12$ 通りです。

(答え) 12通り

(3) 最大の数が6の場合は、残りの数は必ず1です。

したがってA、B、Cが6の場合があるので合計3通り。

最大の数が5の場合は12通り

最大の数が4の場合

$A=4$ とするとBとCが3以下でなければならないのでそれぞれ3通りです。

したがって全部では $3 \times 3 \times 3 = 27$ 通り

最大の数が3以下の場合 何をとっても $A+B$ 、 $B+C$ 、 $C+A$ は7以下になります。

$A=3$ とするとBとCは3以下ですから、(1)と同じになるので27通り

したがって合計は $3+12+27+27=69$ 通り

(答え) 69通り